

市内の剪定枝堆肥・腐葉土等の放射性物質測定結果(平成24年度)

若松苗圃の剪定枝チップ堆肥、落ち葉の銀行の腐葉土、及び生ごみ資源循環システム事業で生産している堆肥用資材を採取し、放射性物質を測定しましたので、結果をお知らせします。

今回の測定では、暫定許容値を下回りましたが、今後も関係機関と連携し、測定を継続していきます。

■測定結果

採取場所	品目	採取日	放射性ヨウ素		放射性セシウム				
			ヨウ素131		セシウム134		セシウム137		合計
			単位(Bq/kg)	検出下限値	単位(Bq/kg)	検出下限値	単位(Bq/kg)	検出下限値	
若松苗圃	剪定枝チップ堆肥	2月8日	不検出	6	130	—	260	—	390
若松苗圃	腐葉土(落ち葉)	2月8日	不検出	12	42	—	75	—	117
若松苗圃	腐葉土	2月8日	不検出	14	不検出	6	15	—	15
現業事務所	生ごみ堆肥用資材 (平成23年度生産)	2月28日	不検出	4	21	—	34	—	55
現業事務所	生ごみ堆肥用資材 (平成24年度生産)	2月28日	不検出	3	不検出	2	不検出	3	不検出

※単位は1キログラムあたりのベクレル(Bq/kg)です。

※不検出は、検出下限値未満であることを示し、検出下限値とは、測定において検出できる最小値です。

※生ごみ資源循環システム事業で、平成23年度に生産した生ごみ堆肥用資材は、剪定枝チップ堆肥を混ぜていますが、平成24年度に生産した生ごみ堆肥用資材は、剪定枝チップ堆肥を混ぜていません。

■測定内容

▽測定方法 農林水産省が定めた「肥料中の放射性セシウム測定のための検査計画及び検査方法」により試料を採取し、ゲルマニウム半導体検出器を用いて測定

▽検出器名 ゲルマニウム半導体検出器7500SL(CANBERRA社)

▽調査機関 中外テクノス株式会社

■暫定許容値

▽農林水産省が定めた、肥料・土壌改良資材・培土中に含まれる放射性セシウムの暫定許容値は、400Bq/kgです。

■空間放射線量【参考】

測定場所	品目	測定日	100cm	5cm
若松苗圃	剪定枝チップ堆肥	2月8日	0.083	0.120
若松苗圃	腐葉土(落ち葉)	2月8日	0.056	0.064
若松苗圃	腐葉土	2月8日	0.044	0.038
現業事務所	生ごみ堆肥用資材 (平成23年度生産)	2月28日	0.069	0.069
現業事務所	生ごみ堆肥用資材 (平成24年度生産)	2月28日	0.052	0.053

※単位は1時間あたりのマイクロシーベルト(μ Sv/h)

※測定機器 Radi PA-1000(株式会社堀場製作所製)

※測定方法 測定点で1分間保持し、数値を安定させた後、30秒ごとに5回測定した平均値